

連携室だより

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2014.6

vol.98

診療科紹介 — 第一循環器内科 —

第一循環器内科部長 中島 均



1. 概要

平成25年度は、医員の市来仁志先生、藤田祥次先生、佐々木雄一先生が異動され、久保忠弘先生、樋口公嗣先生、安崎和博先生、毛利翔悟先生が赴任してみえました。

久保忠弘先生は、現在24年目の医師で平成15年に学位を取得され、内科全般に造詣が深く、極めて臨床力の高い先生です。インターベンションはもちろんのこと心エコーや心筋シンチ検査にも力を入れていただいております。今年は心筋シンチの臨床研究、MRIの臨床研究を中心となって立ち上げる予定です。

樋口公嗣先生は、現在16年目の医師で平成13年に一度当院でレジデントとして一緒に勤務していただきました。当時から優秀な先生でカナダに留学し、今をときめくIPS細胞の研究、遺伝子の研究後、平成17年に学位を取得されておられます。臨床については、天陽会中央病院で腕を磨かれ、オールラウンドプレイヤーとして活躍していただいております。

安崎和博先生は、現在10年目の医師で阿久根市民病院で急性期医療、特にカテーテル治療を専門に研鑽され、当院でインターベンション治療専門医資格取得等、キャリアアップしていただける予定です。

レジデントの毛利翔悟先生は、現在4年目の医師で今後、循環器専門医資格取得に向けて研鑽中です。平成23年に一度、研修医として当院で勤務されております。全てにおいて秀でておられ、ピアノの演奏もプロ級で当院のクリスマスコンサートでも活躍していただきました。このような幅広い人間性を生かして、現在、学生や研修医の屋根瓦方式教育の重要な一翼を担っていただいております。

また、週に1回程度、牧優子先生と不整脈専門の奥井英樹先生に診療援助医として外来診療に携わっていただき、それぞれの専門性を発揮していただいております。

臨床面では、従来からの腹部動脈瘤に対するステントグラフト治療が心臓血管外科の協力のもと、順調に症例を加えており、胸部ステントグラフトも無事、第一例目の治療に成功し、今後症例を増やしていく予定です。

また、毎年開催している心臓・血管病市民公開講座においても企画から開催まで中心となって取り組み、今年で第4回目を開催しました。今、話題の「タニタ」の管理栄養士による特別講演を企画し、大変盛況で、成功裏に終わることができました。

今後当院は従来からの循環器、脳卒中、がんに加え、より専門性の高い救急や総合診療にも力を入れていく方向ですが、循環器グループとしても専門性の高い高度な医療レベルの維持、発展に邁進していくつもりです。

2. 人事

H23.7.1 ~	H26.3.31	医員	藤田 祥次
H24.1.1 ~	H26.1.31	医員	佐々木 雄一
H25.1.1 ~	H26.1.31	医員	市来 仁志
H26.2.1 ~		医員	久保 忠弘
H26.2.1 ~		医員	安崎 和博
H26.3.1 ~		レジデント	毛利 翔悟
H26.4.1 ~		医員	樋口 公嗣
H25.9.1 ~		医員(診療援助)	牧 優子
H26.5.16 ~		医員(診療援助)	奥井 英樹

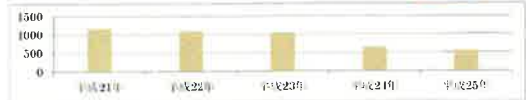
3. 実績

平成25年のカテーテル検査は548例、カテーテル治療は216例と例年通りであり、腹部大動脈瘤のステントグラフト治療は5例、胸部大動脈瘤のステントグラフト治療は1例と、順調に施行しております。

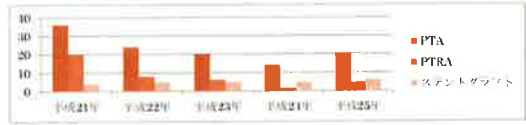
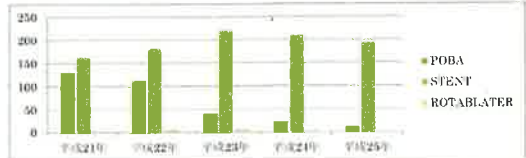
また当院の心筋シンチ検査の症例数は、全国でもトップレベルの数を誇っております。

当科の主な検査、治療実績は右記の通りです。

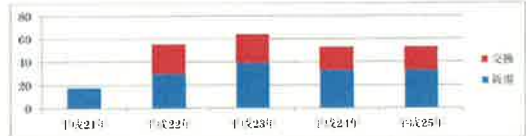
【心臓カテーテル検査】



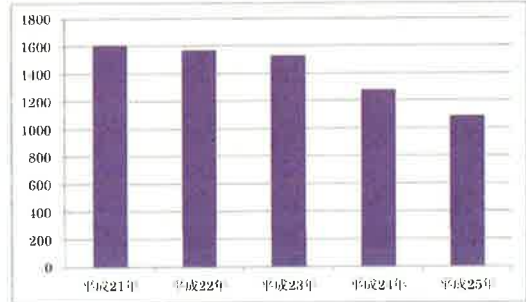
【冠動脈インターベンション】



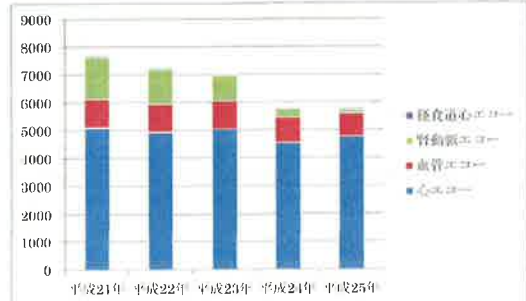
【ペースメーカー植え込み】



【心筋シンチ検査】



【エコー検査】



職場紹介

【臨床工学室】

私たち臨床工学技士は、森山心臓血管外科部長のもと8名（1名育休中）で業務を行っております。臨床工学技士とは、生命維持管理装置を医師の指示の元に操作を行う医療従事者ですが、機械屋さんと思われてパソコンや家電製品の修理依頼がきたりすることもあります。

当院では、手術室業務、血液浄化業務、ICU業務、心カテ室業務や機器管理業務を行っております。

【手術室業務】 体外循環操作、内視鏡手術の立ち会いや神経系の検査機器の操作などに対応しています。中でも体外循環は年間200例以上という全国的にも多い症例数となっています。

【血液浄化業務】 入院患者様への人工透析や持続的血液浄化、血漿交換など年間約2000例を行っています。当院の特色上、循環器疾患を持たれている方がほとんどで血行動態の変動に特に気を付けて日々対応しております。

【ICU業務】 呼吸器管理、補助循環装置管理、持続的血液浄化、その他機器管理を行っています。生命維持管理装置は、使用中の動作点検を毎日1回は必ず行い、24時間オンコール体制をとり医師や看護師からの依頼があればすぐに対応しています。

【心カテ室】 血管内治療時の血管内エコーや補助循環の操作、昨年からは不整脈治療にも対応を始め、担当者が悪戦苦闘しながらがんばっています。

【機器管理業務】 院内の輸液・シリンジポンプの中央管理が中心で、機器の修理やオーバーホールなどはなかなか対応できていないのが現状です。今後は、医療機器の安全向上のために充実させていきたいと考えています。

私達の業務上、緊急対応の業務が多く色々な面で不十分な点もあるとは思いますが、できる限りの誠意を持って対応し医療に貢献できるよう今後も努力していきたいと思っております。

今後ともよろしく願いいたします。

(文責：副臨床工学技士長 宮之下 誠)

循環器合同カンファレンスのご案内

当院では、毎週月曜日午後6時から手術適用症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科などと合同で症例検討会を行っています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

開催日：毎週月曜日 午後6時～

問い合わせ先

鹿児島医療センター地域医療連携室

電話 099-223-1151

FAX 0120-334-476

研修医の声



宇佐美 環

私は鹿児島大学病院の桜島プログラムのたすき掛けで、最初の1年間鹿児島医療センターで研修しています。3月末は採血や点滴の練習などを行い、研修2年目の先生や看護師さんが気をつけるべき点やコツを丁寧に教えてくださいました。4月に入ってからは、すぐに実務に入るのではなく、研修2年目の先生やレジデントの先生に1対1でつき、カルテの使い方やオーダーの仕方を学ぶ shadowing を1週間行いました。実務に入る前に、先生方の仕事を間近で見て学ぶことができ本当に良かったです。また、朝は入院患者さんの採血をしていますが、その時も研修2年目の先生やレジデントの先生が、私たち1年目のために一緒にまわってアドバイスをしてくださいました。そして、指導医の先生や各病棟の看護師さんも私たちに優しく指導してください、この温かい雰囲気は鹿児島医療センターの良さだと思います。ここでは多くのことを研修医が実際にできるので、その機会をしっかり活かしてより充実した研修を送りたいです。



森口 智江

4月からお世話になっております。研修医1年目の森口智江と申します。大学病院の桜島プログラムで、9ヶ月間鹿児島医療センターで研修させていただく予定です。不安で慣れない作業だらけの毎日ですが、先生方やコメディカルのスタッフの方々が優しくサポートしてくださり、失敗ながらも前向きに日々を過ごしています。一日でも早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。



山下 雄史

4月より初期研修医としてお世話になっております山下雄史です。今まで勉強さえしていればよかった大学生活とは大きく違い、こなさなければいけない仕事を覚えることで一杯一杯の中、指導医の先生をはじめ多くの周りの方々に支えていただきながら日々勉強させて頂いております。指導熱心な先生が多く、今までの座学とは違った実践を踏まえた臨床でしか学べない貴重な体験ができています。まだまだ何もわからずにご迷惑をお掛けすることも多いと思いますが、一日でも早くお役に立てるように頑張りたいと思います。これからもご指導のほどよろしくお願致します。



片野田 和沙

鹿児島大学病院桜島プログラムの研修医2年目、片野田和沙と申します。4月から鹿児島医療センターで研修させていただいております。慣れないことも多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あると思いますが、少しでも多くの知識と技術を身に付けるため日々精進していく所存です。ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



山下 和

4月から研修医1年目として勉強させていただいております。研修医1年目の山下和と申します。久留米大学を卒業し、地元鹿児島に帰ってきました。初めてのことでばかりで、ご迷惑をおかけしておりますが、少しでも役に立てるように頑張っていきたいと思っております。実りのある2年間にしたいと考えております。今後ともご指導のほどよろしくお願致します。



佐藤 龍一

はじめまして、研修医1年目の佐藤龍一と申します。4月から鹿児島医療センターで2年間臨床研修をさせて頂くことになりました。出身は熊本県ですが、大学の6年間で鹿児島の人と気候のあたたかさに魅了され、卒業後もこちらに残ることにしました。研修が始まり間もなく一ヶ月が過ぎようとしていますが、毎日先輩方に丁寧なご指導を頂きながら、忙しくも大変充実した日々を過ごさせて頂いております。鹿児島医療センターは病院全体で若手職員を育てるという雰囲気があり、医師としての初めの2年間を送る場所としてこの病院を選んだ良かったと思います。今は何をしても失敗ばかりですが、早く一人前の医師になれるよう患者さんの声にしっかりと耳を傾け、一つ一つ確実な知識と技術を身に付けていきたいです。今後とも宜しくお願致します。



潤田 心

4月より2年間、鹿児島医療センターで研修をさせていただくことになりました、研修医1年目の潤田心と申します。福岡大学を卒業し、地元である鹿児島に戻って参りました。大学で得た知識を実践に活かすことがなかなかできず、四苦八苦する毎日ですが、熱心で丁寧な先生方の御指導の下、毎日充実した研修を行うことができっております。医師として、また社会人としてもまだまだ至らない点も多くあり、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、少しでも早く一人前になれるようより一層努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願致します。



新任紹介



消化器内科

藤田 浩

平成26年4月に鹿児島大学病院から赴任しました。当院での勤務は平成9年以来17年ぶりとなります。大学病院では炎症性腸疾患を中心に消化管疾患を診療してきました。当院は「がん専門施設」ですので、消化器癌の診断・治療はもちろんのこと、今後は私の得意とする分野も対象疾患として広げていきたいと思っております。消化器内科は私も含めて5名体制で協力して外来診察、画像検査、病棟診療に対応しています。消化器疾患につきまして地域の先生方、患者様のお役に立ちたいと考えておりますので、何かありましたら是非ご相談ください。



泌尿器科

宮元 一隆

H26年4月1日より赴任しました泌尿器科の宮元です。最近では泌尿器科も分野が細分化されてきており、腫瘍、血液浄化療法、腎移植、小児泌尿器科、尿路結石、感染症など多彩になってまいりました。一施設ですべてをこなすことは難しいですが、適材適所に相談いたしますので、いろいろとご相談いただくと幸いです。

先輩の恒吉先生も仕事ができる方で、鶴田君も優秀ですので、私も負けないように邁進してまいります。

また医療センターで仕事をはじめて日が浅いですが、非常に仕事がしやすいです。スタッフさん方も協力的なので助かっております。これからもよろしくお願い申し上げます。



消化器内科

福森 光

H26年4月より前任地の宮崎県にある高原病院から消化器内科の一員として赴任しました。新しい職場環境にまだまだ不慣れで、迷惑をかけている状態です。今後消化器疾患の理解を深め、自己のskill-upを図ると同時に、内視鏡検査を含めて検査・処置・治療に役立っていきたくと考えています。医療センターならではの他科との連携を深め、上司・同僚とともに、鹿児島医療センター消化器内科を盛り上げていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。



泌尿器科

鶴田 雅史

都城病院より異動して参りました、泌尿器科の鶴田と申します。地方の病院を転々として、4年振りに地元鹿児島市に戻って来られて感激しています。

まだまだ未熟ですが、少しでも皆様のお役に立てるよう努めたいと思っております。

1年周という短い期間ですが、よろしくお願い致します。



消化器内科
レジデント

上田 紘子

平成26年4月より鹿児島厚生連病院から消化器内科へ異動となりました。「上田」と書いて「かんだ」と申します。

諸先輩のご指導のもと、さまざまなことを吸収していきたいと思っております。

色々ご迷惑をおかけするかと思いますが、一生懸命頑張ります。よろしくお願い致します。



外科・消化器外科

山元 文晴

この度、4年ぶりに医療センターに勤務となりました。4年前までは研修医として勤務しておりましたが、今回は後期研修も終了し一般外科医として働くことになりました。

初期研修の頃にお世話になった先生・看護師・スタッフさんも多々いらっしゃり、少しは成長した自分を見せられないかな、などと傲慢なことを考えています。

少なくとも、仕事に対してフットワークを軽く、外科医として対応できることには迅速に対応していこうと考えています。まだ若手でもあり、皆様方にとっては物足りない部分も多々あると思いますが、これからよろしくお願い致します。



産婦人科
レジデント

儀保 晶子

5月より鹿児島大学病院から異動してまいりました。鹿児島医療センターには6年ほど前にも半年間勤務しておりましたが、以前はなかった電子カルテも導入されており、電子機器の苦手な私はまずパソコンと格闘する日々です。今年の3月に1年2か月ぶりに仕事に復帰したばかりでまだ不安も多い上、大学では長い産科に所属しておりましたので、婦人科疾患の多いこちらでは不慣れなことばかりではありますが、頑張りたいと思っております。4か月という短期間ではありますが、よろしくお願い致します。



麻酔科
レジデント

白桃 瞳子

平成26年4月より麻酔科で勤務している白桃と申します。鹿児島大学、鹿児島市医師会病院での研修を経て、当院へ参りました。赴任して一週間の間に、大きな緊急手術がほぼ毎日のように入ってきて驚きましたが、よい緊張感を持って日々学んでゆけたらと思っております。至らない点も多々あるかと思っておりますが、よろしくお願い致します。

■お問い合わせ先

独立行政法人
国立病院機構

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

(代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246 <http://www.kagomc.jp>

【地域医療連携室】 菌田・四丸・井手・濱口・森・鷺頭・吉留・山口・酒井・櫻木・竹田津

フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

